

身近な自然を活かして、共に豊かに生きましょう！！

■ 多摩産材・天然木を使用するメリット ■

- ① 私たちに安らぎや生命の躍動感を与えてくれます。
- ② 天然木がもつ物性を活かすことで、健康面、デザイン面の効果を生みます。
- ③ コンクリートや金属に比べ、放射熱が軽減できること等、私たちの都市環境、住環境改善に繋がります。
- ④ 多摩産材・天然木を活用することで、産地と、東京という日本最大の消費地間の木材流通の活性化を促進します。
- ⑤ 多摩産材の消費が旺盛になれば、産地の山林整備も進み、山林環境も活性化します。
- ⑥ 多摩産材を活用することは、循環型社会の進展の一助になります。



上左）学校の万年堀の建て替え事業。東京都推奨仕様の銅製フレームと（施主：日本大学豊山女子高等学校・中学校様／施工：株式会社原設備工業様）
上右）赤坂クレア保育園のテラスフェンス（施主：社会福祉法人慈光福祉会様／設計：株式会社アトリエオズミ様／施工：株式会社イチケン様）
下） 集合住宅の回廊と中庭のルーバーフェンス（施主：山北町水上住宅整備事業様／元請：山北町水上住宅建設共同企業体様、ご指定地元産材使用）



風大地プロダクツは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

檜原村木材産業協同組合 組合員
有限会社 風大地プロダクツ
〒120-0012 東京都足立区青井3丁目 5-26-424
Tel.03-5681-4912 Fax.03-5681-4911
多摩工場 〒190-0173 東京都あきる野市戸倉 578

詳しくは
web サイトで



製品カタログ
図面集



価格表
ダウンロード



お問い合わせ

東京の木を使って、山も水もきれいに

木べえさん

Mokubē-san



都内で唯一の原木市場、多摩木材センター



木堀に合わせて、門柱と玄関・車庫扉を特注製作

設計・監理：合同会社 team AeO 一級建築士事務所様 施工：竹広林業株式会社様

多摩の森から、天然木の息吹きをお届けします

有限会社 風大地プロダクツ

■ ”木べえさん” は、地産地消の天然木フェンスです。

東京都西多摩郡檜原村で育ったヒノキは、地元の製材所・天然乾燥場を経て、当社直営工場で”木べえさん”に組み立てられます。
お近くの街の景観づくりに、安心安全なまちづくりに、温熱環境の改善に、貢献いたします。

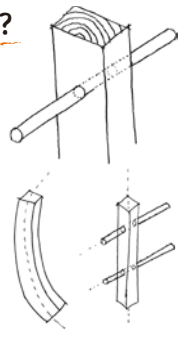


■ ”木べえさん” は、ちょっとユニークな木組みのクロスポール工法！！

クロスポール工法とは？



角材にヒノキの丸棒を通してつなぐ、木組み工法。反り・歪みなど、クセのある材料も、丸棒でそれらを抑制でき、木材の有効活用が大。



フェンスパネルに組んだ後に加圧注入で防腐処理するため、防腐薬剤の抜けがなく、より長持ち。



フェンスパネルで納品。パネルを丸棒で継いで設置します。施工がスムーズ、短時間で仕上がります。



JAPAN WOOD DESIGN
AWARD 2016

クロスポール工法は
ウッドデザイン賞 2016 受賞
2023 も受賞
特許第 6083920 号

耐朽性も安心！！



土木分野で実績のある加圧注入の防腐処理。薬剤が内部まで浸み込むので、高耐朽。



1995 年設置の東北自動車道の遮音壁。今も現役。木材の縦使いは水のキレが良く、いっそう長持ち。

■ ”木べえさん” は、リバーシブル！！ 外も内もスツキリ。

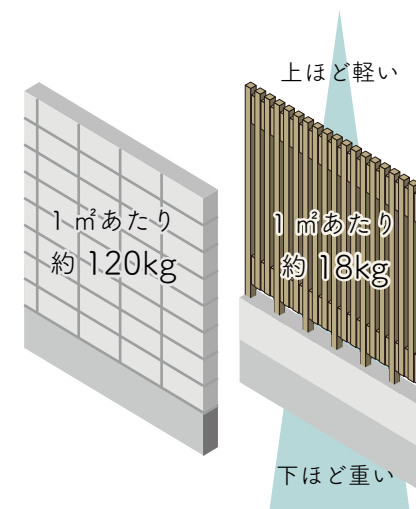


テラスを囲むスリットタイプの”木べえさん”



”木べえさん”の内側から夕日を透かして眺める

■ ”木べえさん” は軽い！！ だから、地震に強い。

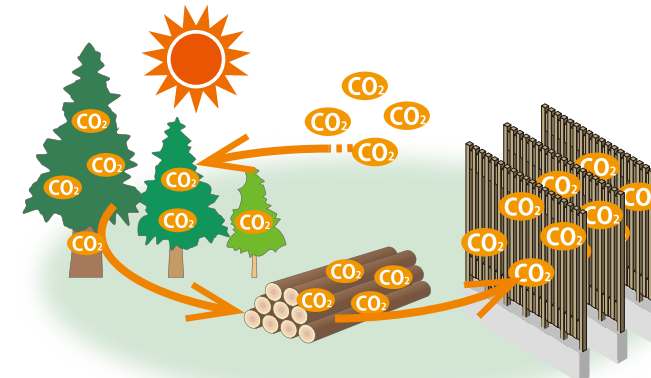


最も薄い厚さ 100mm のコンクリートブロック塀でも、重さは 1m² あたり約 120 kg。一方”木べえさん”の重さは、タイプによって 1m² あたり約 11～25 kg。コンクリートブロック塀の 1/10～1/5 の重さです。しかも、水分の偏りで上に行くほど軽いので、いっそう倒れにくいのです。



学校の万年塀の建て替え事業。東京都推奨仕様で、鋼製フレームとのドッキング。
(施主：日本大学豊山女子高等学校・中学校様 / 施工：株式会社原設備工業様)

■ ”木べえさん” を使い続けると、CO₂ が固定化されます。



木を木製品として使い続ける限り、木が貯めた CO₂ は空気中に出ていきません。その上、新しい木を植えて育てれば、空気中の CO₂ は減っていきます。
”木べえさん”（目隠しの場合）は、1m² あたりで、約 32 kg の CO₂ を固定化しています。

木が、ヒートアイランド現象を緩和

木は、熱を蓄えにくい材料です。それに比べ、コンクリートは熱をよく蓄えます。そのため、家屋がコンクリートに囲まれていると、夏の夜、屋間の熱がいつまでも残って暑苦しく感じられます。この現象がまち全体に及ぶとヒートアイランド現象となります。なので、コンクリートに囲まれるよりも、木に囲まれる環境に変えると、心地よい住まいになるとともに、ヒートアイランド現象も緩和されるのです。

木が、紫外線による美容・健康被害を緩和

木は、シミやシワ、皮膚ガンの原因になる紫外線を吸収してくれます。木（杉）が反射する紫外線（350nm）はわずか 2% 前後ですが、これに比べて、鉄は 20～25%、アルミニウムは 50% 前後、紫外線を反射します。なので、木に囲まれていると紫外線を浴びる量が少なくて済むのです。（2020 年 2 月日本木材防腐工業組合 調査資料より）